

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 4期連続トップ当選

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361(fax 兼用)
市議会議員 吉田つとむ
yoshidaben@gmail.com



一般質問: デジタル教科書と紙の教科書

デジタル教科書の検定活用を長年求める

文科省は、今後の方針で、小中学校の教科書に関して、紙とデジタルの選択制を採用する方向を示しております。そこで、その意味を問いただきました。各教育委員会は、紙かデジタル式か、どちらかしか使用できないということか。それとも、国が無償で配布する教科書は、紙かデジタルか、いずれしか渡せない、両方ほしければ、片方は自前で買いなさいということかとシンプルに問いました。もとより、国が示すのは予算的な側面からの指針であり、自前でそろえれば、児童生徒はその双方を手にして、家庭用の学習と学校での学習を使い分けるようになるのではないのでしょうか。

2006年にはデジタル教科書の勉強会を主催し、友人を集める



もっとも、区部では経済力に合わせて先行実施するでしょうし、町田市は中学校全員給食の導入、あるいは給食の無償提供の導入と同じく、遅滞することが多いわけであり、東京都の予算措置が出るまで、紙とデジタルの両方を無償で提供することはなく、それができるのは最も後になるでしょう。

また、電子教科書導入と町田市が配布するタブレット端末機についても尋ねましたが、町田市が採用している端末機はそのまま使用できると言うことでした。

SECURITY SHOW2025 を視察する

東京ビッグサイトで開催された、「SECURITY SHOW 2025」を視察しました。最新の防犯カメラやIPカメラ、警備システム、アクセスコントロール、サイバーセキュリティまで、社会の安全・安心を守るための製品やサービスを紹介(主催者のHPより)する展覧会でした。

実際に見学したのは、100個のカメラの動画映像を1枚のスクリーンに映し出すソフトの企業(ビデオテクニカ)であったり、省力化した遠隔操作システムを学びました。

また、外国企業も多数出展しており、中国の華為技術(ファーウェイ)もブースを出し、監視カメラによるセキュリティシステムを展示していました。その隣には、台湾のYunheTechnologyという企業が出展しており、Googleを用いた3DVR(仮想現実の)消防訓練システム、さらには軍事訓練システムまで取り扱っており、国情を表していました。

変わったところでは、国の「公安調査庁」(PSIA)という機関もブースを持っていました。一般にはなじまれていませんが、アメリカの中央情報局(CIA)、ロシアの連邦保安庁(FSB)=旧国家保安委員会(KGB)と同様の機関とも言えましょう。



Huawei



Yunhe Technology

*会場は日本、中国、台湾のICT企業が集結

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう!

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる 町田市議会議員・無所属会派に所属する 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、第
55期生が参加研修中

インターン体験記⑤-2 森田瑛斗

「町田市保健所訪問、医療教育の難しさ」

お話をさせていただく中で私が特に印象的だったのが小学生や中学生に対する医療教育についての話題でした。私が小学生の時に保健室で受けた喫煙の授業はいまだに記憶に残っており、真っ黒な肺や双子の比較(片方は喫煙していて歯が溶けている)などショッキングな画像を見て、喫煙は怖いものだと感じたことを鮮明に覚えています。しかし、この説明は、親で喫煙している子供がいた場合、親を否定されているように感じ、子供の自尊心が傷つけられてしまうなど、様々な背景の子供がいることを念頭に、現在はあまり行っていないということでした。多感で人格が形成される段階にある小中学生に対して“正しい“医学教育を行うことの難しさを感じます。

また現在は梅毒の感染が爆発的に増えており、2022年以降は国内でも10000件以上となっています(2010年は621人でした。厚生労働省のホームページ参照)。治療可能な病気であるとはいえ、そのリスクについては幅広く周知されているとは言えません。特に近年若い女性の患者数が拡大していますが、妊娠中の感染は胎児にも影響が出るため大きな問題であると感じます。性にかかわる問題をタブーとして扱うのではなく、若いうちから身近な問題ととらえ、オープンに話すことの出来る環境づくりを進めていくことが必要だと感じます。しかし一方、性教育はデリケートであり、現場の先生方の負担を考えると積極的に扱いづらいということもあるのかもしれませんが。医療教育を効果的に実践していくためには、教育現場だけでなく、家庭や社会全体の理解を深めていくことも同時に実施していく必要性を感じます。



子ども用洗面台：健康福祉会館

インターン体験記⑥ 森田 瑛斗

今回は町田茶道会の月例茶会に参加させていただきました。一つ目のお部屋では抹茶と椿餅を頂きました。作法もわからず右往左往していましたが、横にいらっしゃった茶道の先生に丁寧に教えていただく幸運に恵まれ、美味しく頂くことが出来ました。懐紙(かいし)の使い方に苦戦し、次の機会ではスムーズにいくよう練習が必要だと感じました。



二つ目のお部屋では琉球の音楽を聴きながら、沖縄伝統のブクブク茶を頂きました。泡がこんもりと上にのっており、見た目はバブルバスの様でした。茶筌を通常のものとは比べて大きく、それによって泡が作られていました。味はさっぱりとしており、沖縄の気候にはぴったりのお茶であると感じました。琉球の男性は茶碗に残った泡を指で拭って最後までいただくそうです。第二次世界大戦の影響で、ブクブク茶の文化も一時は途絶えるほど苦しい状況であったそうですが、現在は琉球の皆さんの頑張りで復興しているとのことでした。皆さんも沖縄に行かれた際にはぜひ味わってみてください。茶道を体験するのは初めてで、緊張しましたが、美味しくいただくことが出来ました。インバウンド需要も高まり、日本文化に触れる外国人も増えている中、日本人として一度しっかりと茶道にたしなんでいく必要があると感じました。

東京大学医学部6年生 森田瑛斗(第55期生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2025年3月末までに111名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次回のインターンシップは、2025年夏季募集で2025年3月より広報開始します。